

パラグアイ海外邦人安全対策情報

(平成30年7月～9月)

1 安全に関する情報

外務省海外安全ホームページで、パラグアイ国内の以下の地域に危険情報が発出されていますので、ご注意ください。

●コンセプション県ウブ・ジャウ市と隣接するアマンバイ県内の県境付近、コンセプション県の一部、サン・ペドロ県の一部、アマンバイ県カピタン・バド市、アルト・パラナ県プレシデンテ・フランコ市

:「レベル2:不要不急の渡航は止めてください。」(継続)

●アスンシオン市及び周辺、アマンバイ県ベジャ・ビスタ・ノルテ市、ペドロ・ファン・カバジェロ市、カニンデジュ県サルト・デル・グアイラ市、アルト・パラナ県シウダ・デル・エステ市、イタプア県エンカルナシオン市

:「レベル1:十分注意してください。」(継続)

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1)全般

パラグアイ国内では、オートバイを利用した拳銃使用の強盗事件、市街地での置き引き、車上荒らし等が発生しています。カメラや目立つ貴金属等を露出しない、不用意に貴重品を持ち歩かない、屋外で不急の携帯電話の使用は控える、カバンは身体から離さない等、強盗・盗難の被害に遭わないように心掛けてください。また、銀行や金融機関に出入りする客を狙った強盗も多く発生しています。周囲の状況を常に確認するようにし、警戒の意識を保ちながら行動するようにしてください。

(2)主な事件概要

- ・ 7月6日の深夜、アスンシオン市エレーラ地区に所在するファーストフード店「PIZZERIA LOBEL」に3人組の武装犯が侵入し、店員と客を拳銃で脅迫し、売上金約300万グアラニーを強奪する事件が発生した。店内に設置されている監視カメラの映像から強盗犯の一人が自動小銃を持っている事が確認された。
- ・ 7月16日の正午頃、アスンシオン市ピノサ地区に所在する組合事務所に、オートバイで接近してきた2人組の男が、拳銃で職員2名を脅迫し、現金900万グアラニーを強奪する事件が発生した。
- ・ 7月30日の午後、アスンシオン市エレーラ市区の路上で、54歳の会社経営者が銀行から1億グアラニー(約18,000米ドル)を引き出し、車に向かっている途中、オートバイで接近してきた2人組の男に襲撃され現金を盗まれる事件が発生した。被害者は足に発砲を受け病院に運ばれた。事件が発生したのは、アスンシオン市役所付近であり、警察署は現場付近の監視カメラの映像から犯人の特定を急いでいる。

- ・ 8月5日の深夜、サン・ペドロ県シヨレ市の道路で、オートバイで移動中の若い男性2名が、別のオートバイで接近してきた2人組の男に拳銃で脅迫されオートバイを盗まれる事件が発生した。被害者の一人が強盗犯の発砲を受け死亡した。
- ・ 8月15日の午前2時ころ、アスンシオン市セントロ地区の飲食店に客として訪れていた20歳の女性がオートバイで接近してきた2人組みの男に射殺され所持品を盗まれた。
- ・ 9月3日、セントラル県サン・ロレンソ市で、男女2人がオートバイで接近してきた2人組の男に襲撃され、男性が抵抗したため、首などを凶器刺され死亡が確認された。被害者と一緒にいた女性は近くの住宅に逃げ込み助かったとの事である。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

- ・ 7月4日、セントラル県ルケ市で短期間誘拐事件が発生した。警察庁の報告によると、ルケ市内の住宅で家政婦が帰宅し、12歳の少年が一人で留守番していると、自宅に入った電話で「母親が拳銃で殺されたくなければ、自宅内にある宝石と現金を持って待ち合わせ場所まで来い」と脅迫を受け、少年は直ぐに両親の寝室から100米ドルと宝石を持って自宅近くの商店に行くと、不審な男2人組みに無理やり連れ去られた。その後、男らは子供の父親に電話し息子を無事に解放して欲しければ、5,000米ドルを支払え」と要求したが、父親は、5,000米ドルの現金は持っていないとして、携帯電話会社を通じて、500万グアラニー(約800米ドル)を振り込んだとの事である。被害者の少年はその後に無事に解放された。尚、実際には母親は拉致されおらず、犯人が子供を自宅から出てくるための嘘の脅迫を行ったものと思われる。

4 日本企業の安全に関わる諸問題

- ・ 9月6日、午後1時過ぎ、アスンシオン市リカルド・ブルガーダ地区(通称「チャカリータ」)に一人で入り込んだ、邦人旅行者が路上強盗の被害に遭った。犯人は若い男2名で、突然、背後から羽交い絞めにされ、携帯電話等を奪われたが、幸い被害者に怪我はなかった。